

金研内からの WindowsXP の Windows Update を行う設定について

2008/4/7 版

情報企画室ネットワークオフィス

Tel:2450

imr-net@imr.tohoku.ac.jp

プロキシサーバのある環境で Windows Update を行った場合、設定を正しく行わないと更新の一覧は表示されるにもかかわらず、ファイルやプログラムのダウンロードが行えない状態になります。これまでは、メールアカウント申請時に ID、パスワードと一緒に配布する注意書きの中にそのことを記載してきたのですが、ファイアウォールの記録を確認すると、この設定をされていない PC がプロキシサーバを経由せずに、直接マイクロソフトのサーバと通信を行おうとして、通信を止められている状況が見受けられます。

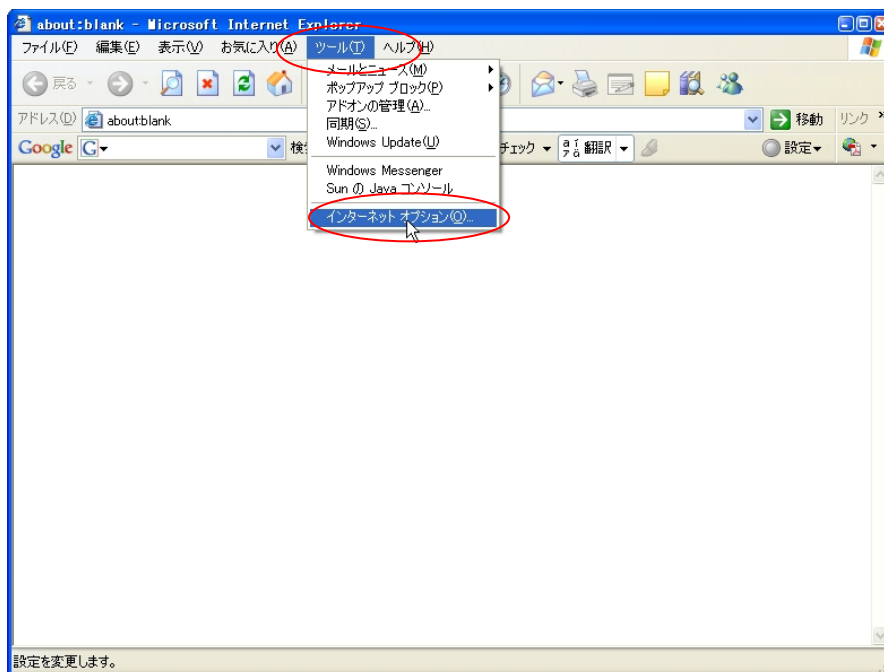
所内で利用する XP のパソコンについては、このマニュアルを参考にして、Windows Update が正しく行えるように設定をお願いいたします。

なお、スパコンネットワークに接続しているユーザーの方は、計算材料学センターへ必要な設定をお問い合わせください

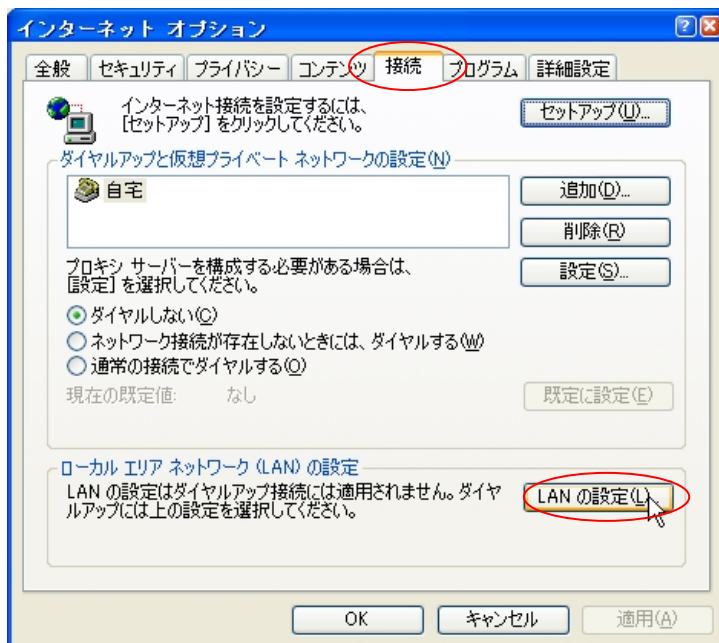
1. インターネットエクスプローラ(IE)を起動

「ツール」→「インターネットオプション」を開く

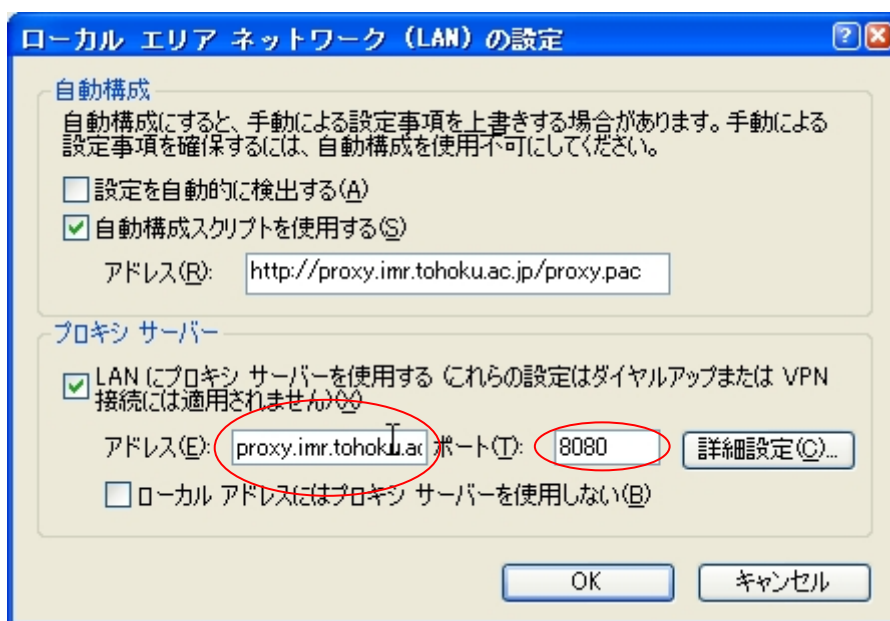
これは「コントロールパネル」の中の「インターネットオプション」でも同じです。



2. 「接続タブ」 → 「LAN の設定を開く」 を開く



3. IE の設定を確認する



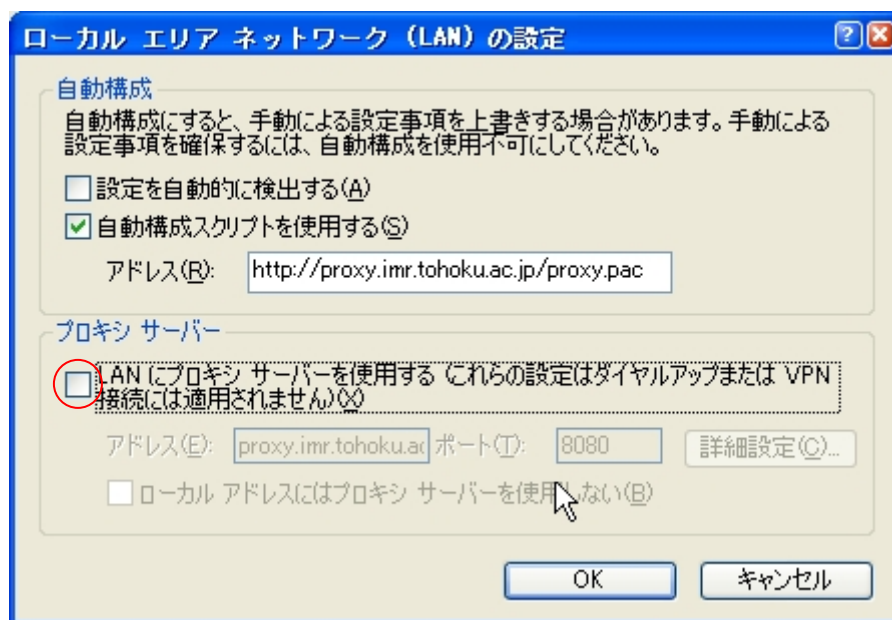
プロキシサーバの部分に

アドレス 「proxy.imr.tohoku.ac.jp」

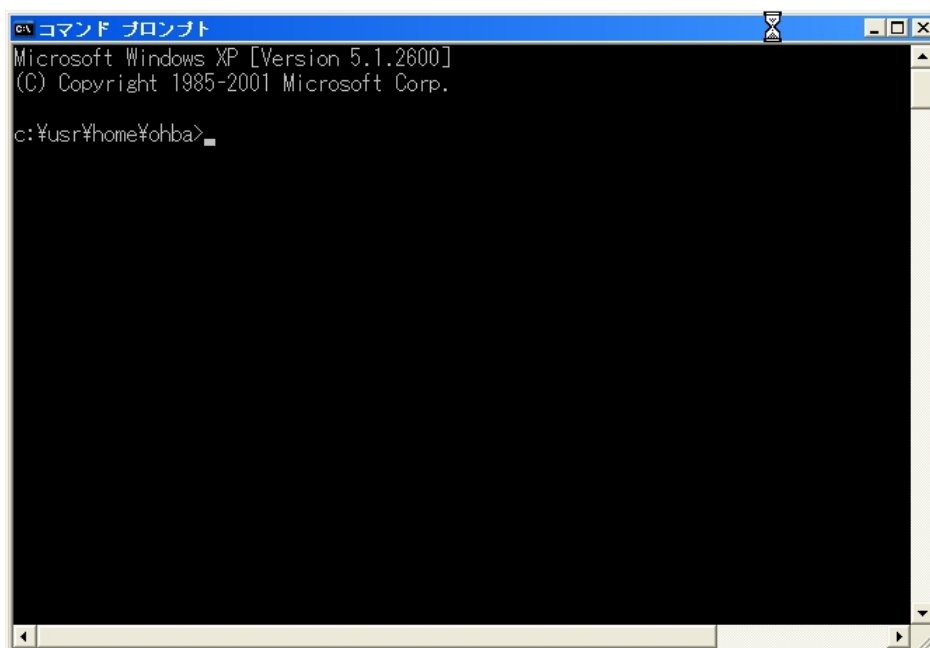
ポート 「8080」

があるかどうかを確認、無ければ上記を入力し、設定を保存する。

ここで、自動構成に「http://proxy.imr.tohoku.ac.jp/proxy.pac」が入っている場合、入力後にプロキシサーバー側の設定のチェックを外して無効(グレーアウト)にしても、WindowsUpdate 用の設定には使えます。自動構成の設定が正しければ IE の動作は問題ありません。



- 「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を起動
※4~6 のコマンドプロンプトの図がこのマニュアルと異なる場合、SP1 の可能性があります。SP1 の場合は「7. 注意」を読んでください。

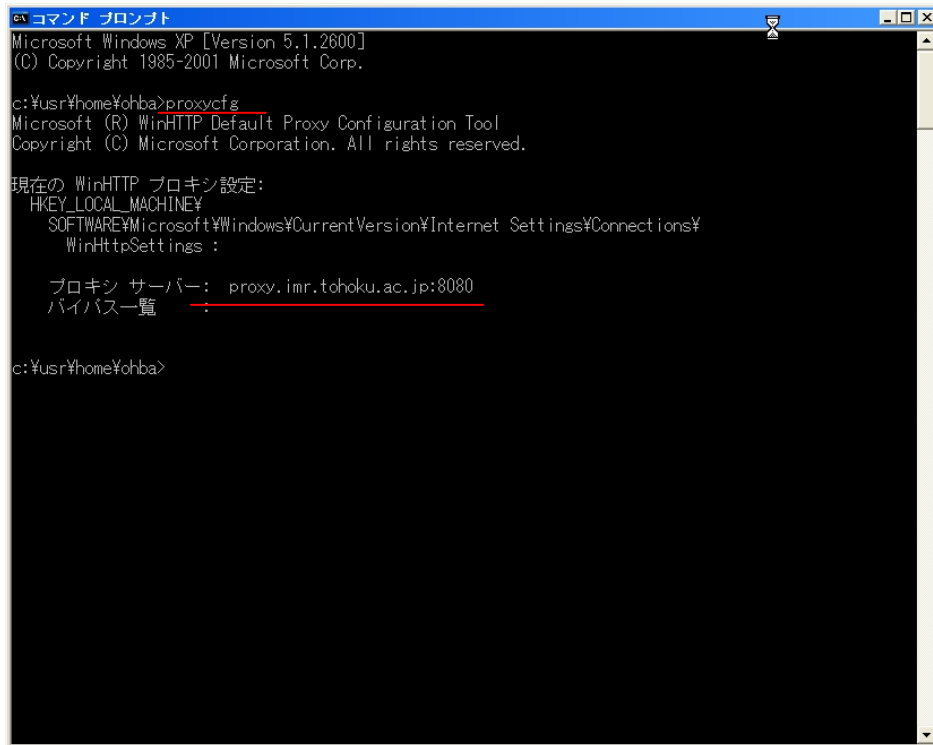


5. WindowsUpdate 用の設定を確認し、必要な場合は設定を行う

proxycfg (Enter)

※(Enter)はキーボードの Enter キー

「プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080」と表示されたら設定済みです。



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

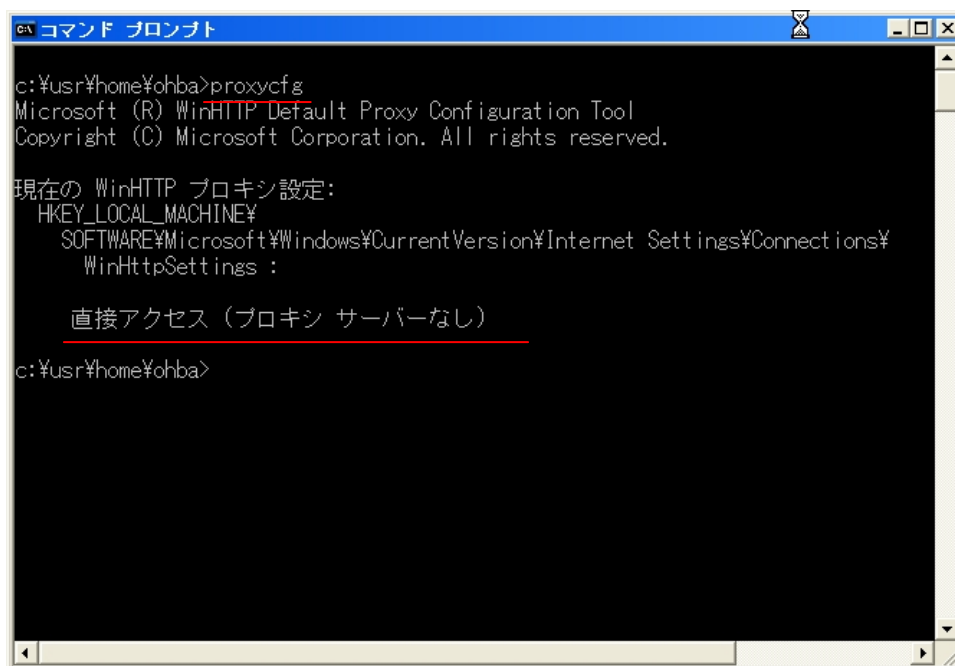
c:\usr\home\ohba>proxycfg
Microsoft (R) WinHTTP Default Proxy Configuration Tool
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

現在の WinHTTP プロキシ設定:
HKEY_LOCAL_MACHINE\
SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Internet Settings\Connections\
WinHttpSettings :

プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
バイパス一覧 :

c:\usr\home\ohba>
```

「直接アクセス(プロキシサーバなし)」と表示された場合は



```
コマンド プロンプト

c:\usr\home\ohba>proxycfg
Microsoft (R) WinHTTP Default Proxy Configuration Tool
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

現在の WinHTTP プロキシ設定:
HKEY_LOCAL_MACHINE\
SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Internet Settings\Connections\
WinHttpSettings :

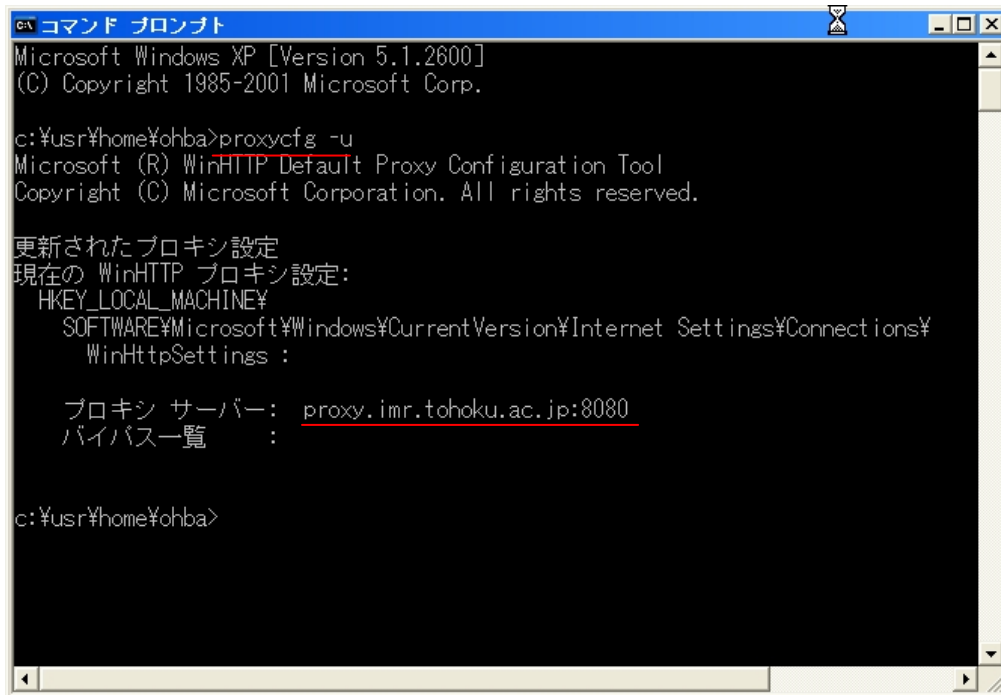
直接アクセス (プロキシ サーバーなし)

c:\usr\home\ohba>
```

proxycfg -u (Enter)

※ 「proxycfg」と「-u」の間にはスペースが入ります

(Enter)はキーボードの Enter キー



```
コマンド プロンプト
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.

c:\usr\home\ohba>proxycfg -u
Microsoft (R) WinHTTP Default Proxy Configuration Tool
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

更新されたプロキシ設定
現在の WinHTTP プロキシ設定:
HKEY_LOCAL_MACHINE\
SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Internet Settings\Connections\
WinHttpSettings :

プロキシ サーバー: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080
バイパス一覧      :

c:\usr\home\ohba>
```

上記コマンド操作で IE の設定を読み込みます。

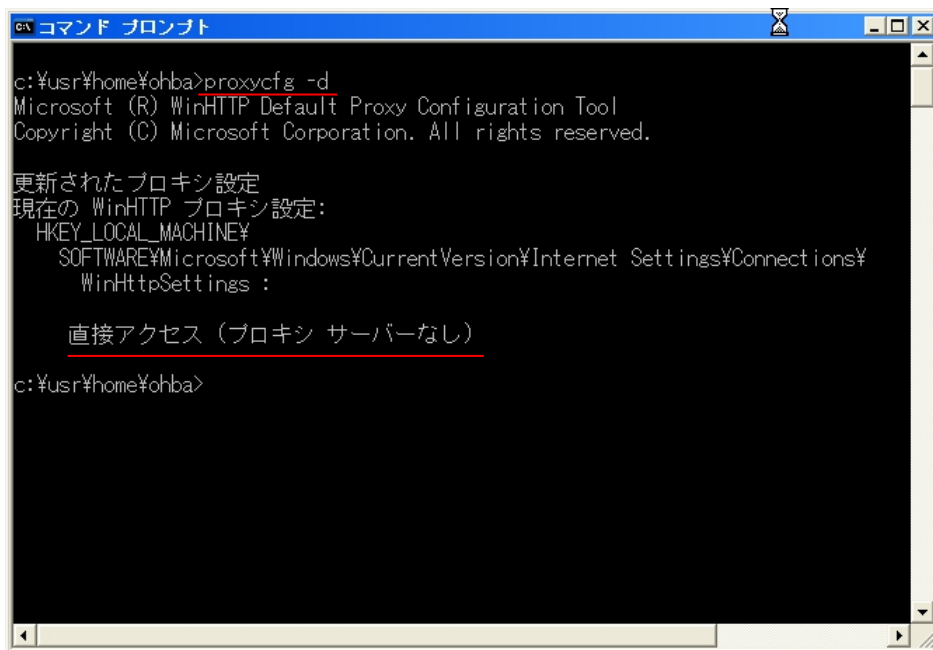
「プロキシ サーバ: proxy.imr.tohoku.ac.jp:8080」と表示されたら設定完了です。

6. ノートパソコン等、金研の外で Windows Update が必要な場合の設定解除方法
「スタート」→「アクセサリ」→「コマンドプロンプト」を起動する

proxycfg -d (Enter)

※ 「proxycfg」と「-d」の間にはスペースが入ります

(Enter)はキーボードの Enter キー



```
コマンド プロンプト
c:\usr\home\ohba>proxycfg -d
Microsoft (R) WinHTTP Default Proxy Configuration Tool
Copyright (C) Microsoft Corporation. All rights reserved.

更新されたプロキシ設定
現在の WinHTTP プロキシ設定:
  HKEY_LOCAL_MACHINE\
    SOFTWARE\Microsoft\Windows\CurrentVersion\Internet Settings\
      WinHttpSettings :

  直接アクセス (プロキシ サーバーなし)

c:\usr\home\ohba>
```

で、上記の金研のプロキシサーバを利用するための設定を解除できます。
金研以外で、プロキシサーバの設定の不要な場所で利用する場合はそのように設定を行い、
金研内に持ち込んだ後で、上記手順で再設定をするようにしてください。

7. 注意

XP SP1 を使用している場合、セキュリティの問題がありますので、至急、SP2 へのアップデートをお願いします。また、XP Home SP1 には上記設定で使用している「proxycfg コマンド」が存在しない場合があります(個体差あり)。proxycfg コマンドの存在しない XP Home SP1 のパソコンは、プロキシサーバを通過させる設定をどうやってもできませんので、金研内部からネットワーク経由での通常手順でアップデートを行うことが不可能になります。なお、すでにマイクロソフトが Wondow Update 経由での SP1 から SP2 へのアップデートを止めていた場合は、全ての XP SP1 からのアップデートができません。

これまでに、いくつかの研究室には日本語版用 SP2 のアップデートプログラムを CD-R で配布しましたが、まだ必要な PC がある研究室はお問い合わせください。SP1 の XP が残っている場合は「CD-R に入れて研究室毎に 1 枚」配布します。なお、必ず「研究室として」のお問い合わせをお願いします。(ユーザー個人に対しての CD-R での配布は行っておりません)

LAN に接続された、実験装置を制御している PC については、装置メーカーに SP2 へのアップデートが可能かどうか、必ず確認をとってからアップデートを実施するようにお願いします。納入時は SP1 用だったプログラムを SP2 で動作するようにした修正バージョンを提供してくれるメーカーもあると思われます。(ただし有償になるかもしれません) なお、SP2 にアップデートした結果、実験装置の制御が不能になった場合、ネットワークオフィスでは責任を負いかねますのでこの点はご了承ください。あわせて、SP2 へのアップデートができない PC については、LAN 接続の制限を行う場合もありますので、その場合はご理解、ご協力をお願いいたします。